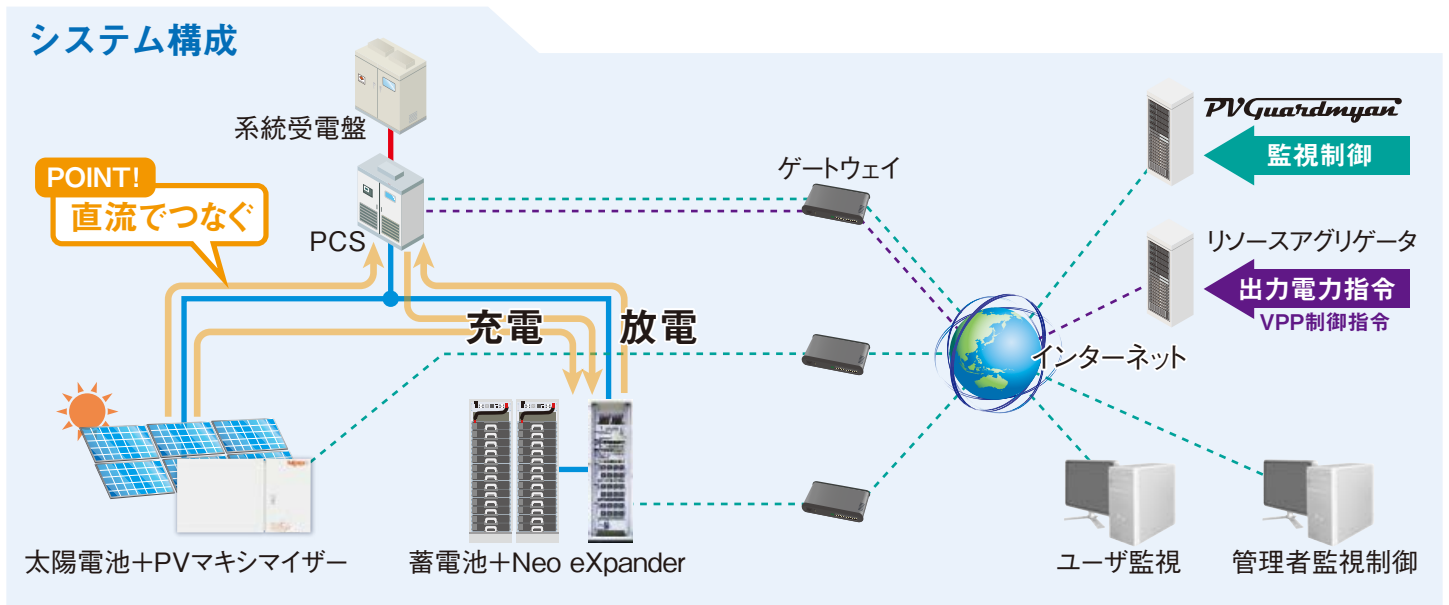


太陽光発電と蓄電池をVPPで一括制御

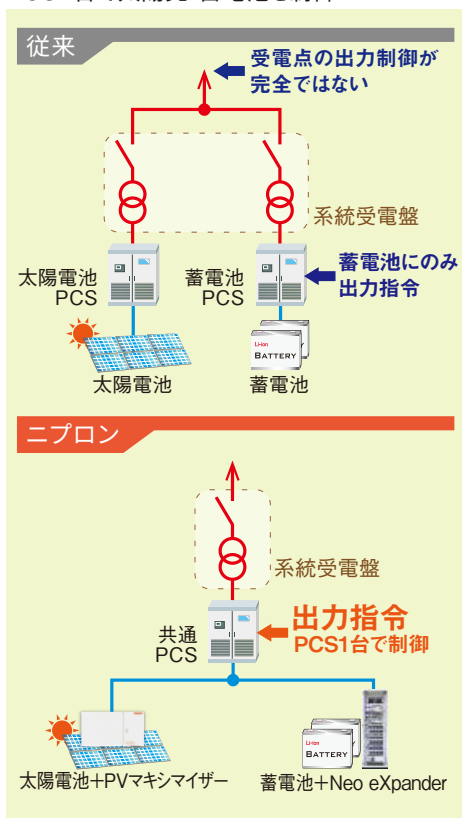
ニプロンのVPPシステムは太陽光発電と蓄電池を直流でつなぎ(直流リンク)、PCSを共通化した構成が特長のシステムです。アグリゲーターからの指令を現地のゲートウェイが受けて、PCSを制御します。さらに、クラウド式遠隔監視・制御システム「PVガードマン」からゲートウェイへ各種設定を行うとともに、現地の情報をゲートウェイから「PVガードマン」へ送信・収集することが可能です。



ニプロンのVPPシステムの特長

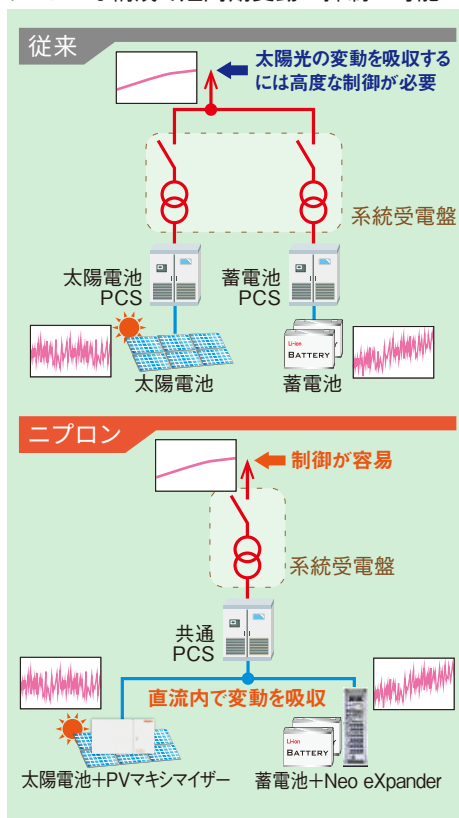
1. 出力一括制御

PCS1台で太陽光・蓄電池を制御



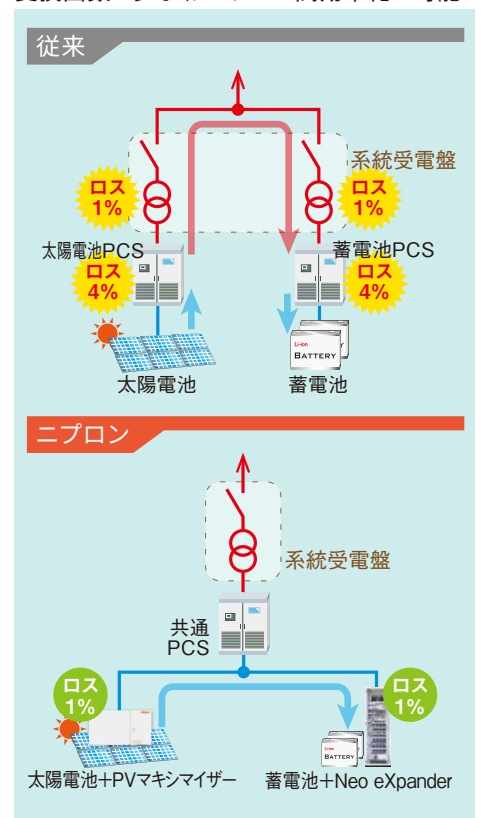
2. 短周期変動の抑制

シンプルな構成で短周期変動の抑制が可能



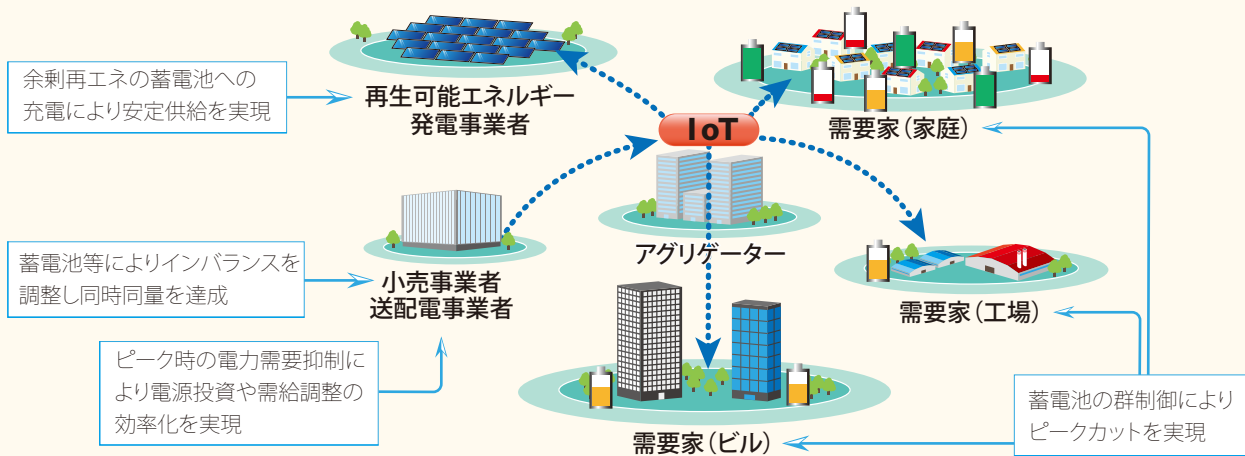
3. 高効率システム

変換回数が少なくシステムの高効率化が可能

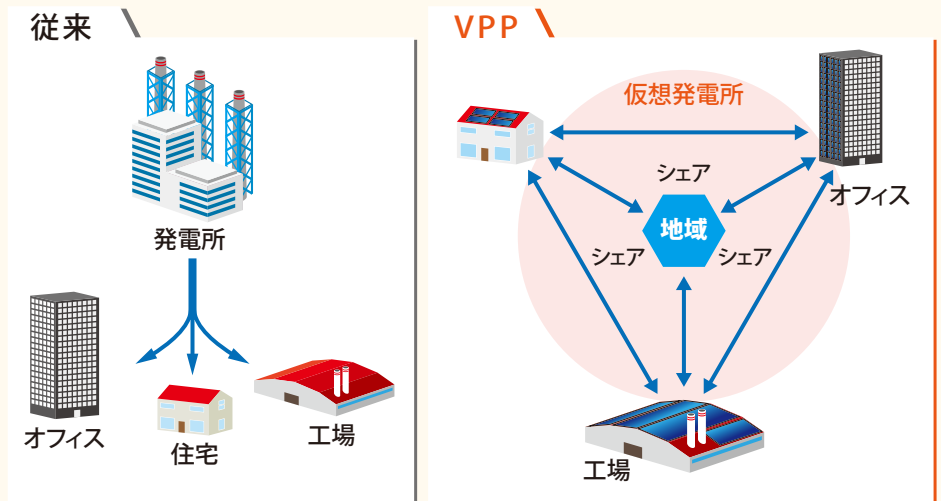


VPP Virtual Power Plant とは

VPP (Virtual Power Plant) とは、「仮想発電所」とも呼ばれ、全国各地に分散する小規模発電所や蓄電施設の電力を通信によって仮想的に束ね、あたかも大規模な発電所のように機能させることを言います。



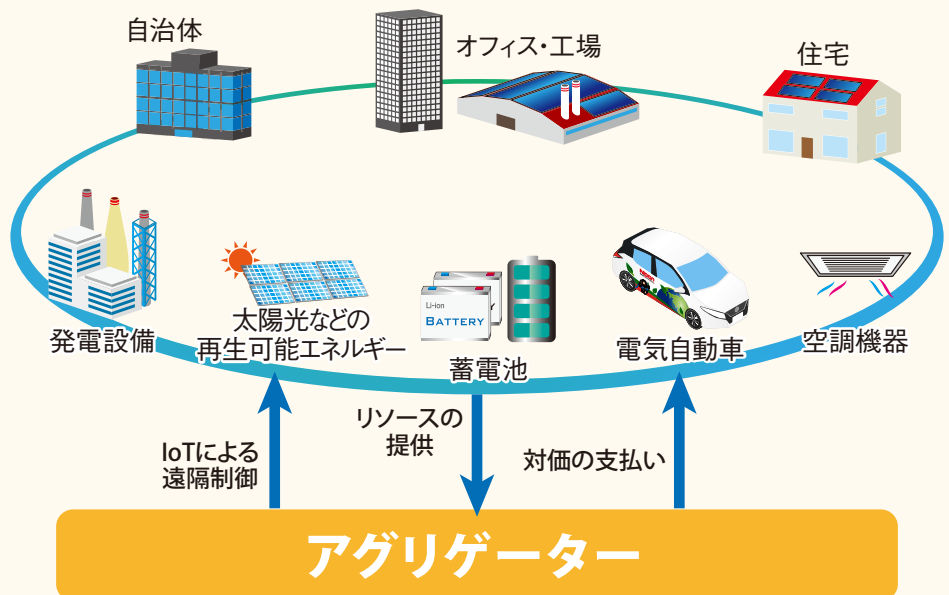
電気は、需要と供給を常に一致させる「同時同量」の需給バランスが必要です。これまでの電力システムは、電力会社が電力のコントロールを一手に担い、バランスを保っていました。しかし、電力自由化が進み、再生エネなどの分散電源が増えることによって、電力会社が所有する集中型電源だけではコントロールしきれなくなることが予想されたため、VPPによって、アグリゲーターが地域の分散電源をまとめて取引することが必要とされています。



これまではFIT制度により、発電した電力は全て電力会社が買い取りました。これからは発電した電力は市場や相対で取引することが求められます。ただし、市場で取引するには、一定の規模や専門知識が必要とされます。

VPPでは

- 市場取引に必要な規模に満たない発電所でもVPPを通して取引する事ができます。
- アグリゲーターと呼ばれる事業者が代表して取引を行うため、小規模発電所の所有者は専門知識が無くても、市場で取引することができます。



株式会社ニプロン
http://www.nipron.co.jp

- グリーンパワー営業部
- 首都圏オフィス
- E-mail

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目3番30号
TEL:06-6487-0611 FAX:06-6487-2212
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目18番地9新横浜ICビル903号
TEL:045-565-9777 FAX:045-565-9793
support@nipron.co.jp